

令和7年度

保健体育科 (2年保健)

北海道穂別高等学校

シラバス

科目名	保健	履修学年	2学年 (必修・選択)
教科担任	長岡 弥生	単位数	1単位
教科書名	現代高等保健体育改訂版 (大修館)	副教材	現代高等保健体育ノート改訂版 (大修館)
教科目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。		
科目目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成することを目指す。		
学習方法	授業で使用するワークシートや現代保健ノートの提出が求められます。 授業で設定する課題解決に向けて努力することが求められます。		

科目全体の評価の観点及び方法

評価の観点		主な評価方法
① 知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (評価の割合 3割)	授業態度 小テスト ワークシート
② 思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (評価の割合 4割)	授業態度 ワークシート その他
③ 主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う (評価の割合 3割)	授業態度 その他

単 元	(3) 生涯を通じる健康 (予定時数 15)
主な学習内容 (活動)	(ア) 生涯の各段階における健康 (イ) 労働と健康
評価の観点と評価方法	<p>①</p> <p>(ア) 生涯の各段階における健康</p> <p>㊦思春期と健康 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解している。</p> <p>㊧結婚生活と健康 結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解している。</p> <p>㊨加齢と健康 中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することを理解している。 【観察・ワークシート】</p> <p>(イ) 労働と健康</p> <p>㊩労働災害と健康 労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変わってきたことを理解している。</p> <p>㊪働く人の健康の保持増進 働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解している。 【観察・ワークシート】</p>
	<p>②</p> <p>生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【ワークシート】</p>
	<p>③</p> <p>生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 【観察】</p>

単 元	(4) 健康を支える環境づくり (予定時数 20)
主な学習内容 (活動)	(ア) 環境と健康 (イ) 食品と健康 (ウ) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 (エ) 様々な保健活動や社会的対策 (オ) 健康に関する環境づくりと社会参加
評価の観点と評価方法	<p>①</p> <p>(ア) 環境と健康</p> <p>㊦環境の汚染と健康 人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解している。</p> <p>㊧環境と健康に関わる対策 健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて理解している。</p> <p>㊨環境衛生に関わる活動 上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて理解している。 【観察・ワークシート】</p> <p>(イ) 食品と健康</p> <p>㊦食品の安全性 人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて理解している。</p> <p>㊧食品衛生に関わる活動 食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて理解している。 【観察・ワークシート】</p> <p>(ウ) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関</p> <p>㊦我が国の保健・医療制度 我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて理解している。</p> <p>㊧地域の保健・医療機関の活用 健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて理解している。</p>

	<p>①医薬品の制度とその活用</p> <p>医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて理解している。</p> <p style="text-align: right;">【観察・ワークシート】</p> <p>(エ) 様々な保健活動や社会的対策</p> <p>我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解している。</p> <p style="text-align: right;">【観察・ワークシート】</p> <p>(オ) 健康に関する環境づくりと社会参加</p> <p>自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて理解している。</p> <p style="text-align: right;">【観察・ワークシート】</p> <hr/> <p>②</p> <p>健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート】</p> <hr/> <p>③</p> <p>健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【観察】</p>
--	--